

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に感染した方が確認されています。 マダニにかまれないように注意しましょう!!

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、主にSFTSウイルスを持っているマダニに噛まれることにより、人や動物が感染するダニ媒介性感染症です。人が感染した場合の致命率は10～30%であり四類感染症に位置付けられています。

- 1 草むらや山など、マダニが生息する場所に入る際は、長袖・長ズボン、手袋、首にタオルを巻くなど肌の露出を避けましょう。
- 2 飼育犬、猫については、ノミ・ダニの駆虫薬を定期的に投与してください。
- 3 ペットが体調不良の際は、直ちに動物病院を受診してください。
- 4 SFTSを含めた動物由来感染症の感染を防ぐために、ペットとの過剰なふれあいは控えましょう。
- 5 野生動物は、どのような病原体を保有しているか分からないので、野生動物との接触は避けましょう。

問い合わせ先

SFTSに関すること 大分市保健所 保健予防課 097-536-2851
ペットに関すること 大分市動物愛護センター 097-588-2200